

鳥栖市文化財調査報告書第77集

今泉遺跡

鳥栖市立保育所いづみ園増築工事関係埋蔵文化財調査報告書

2006

鳥栖市教育委員会

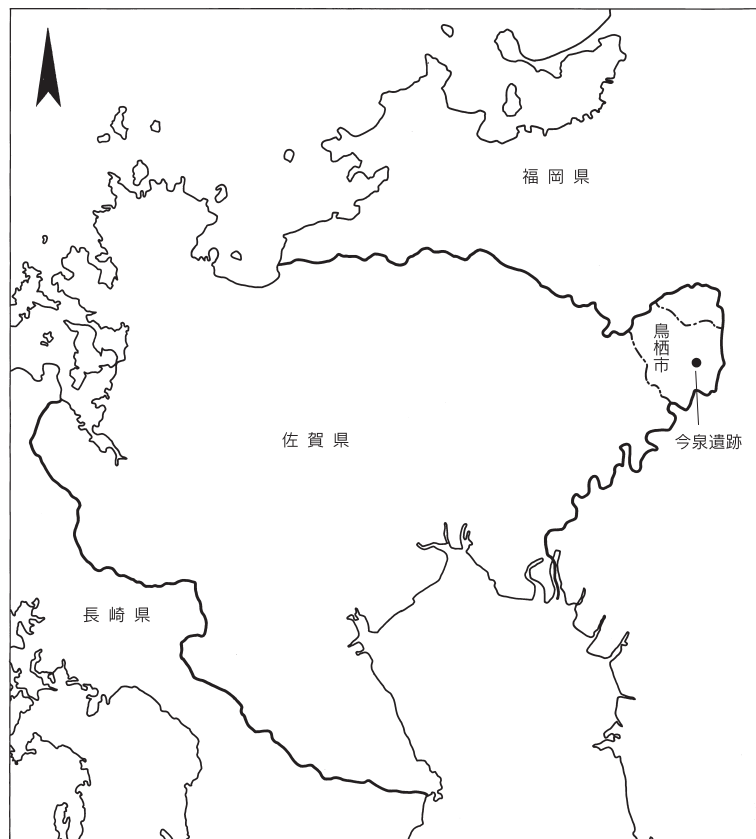
鳥栖市文化財調査報告書第77集

鳥栖市立保育所いづみ園増築工事関係埋蔵文化財調査報告書

i m a izumi

今泉遺跡

6次(6区)調査



2006

鳥栖市教育委員会

序

鳥栖市は、古来より現代に至るまで九州の交通の要所であり、そのため貴重な文化財が数多く存在しています。

ただし近年の開発の増加とともに地下に眠る埋蔵文化財の多くが消滅の危機にあります。そこで教育委員会では、開発によって失われる遺跡を後世に伝えるために、記録保存という形で発掘調査を実施しているところがあります。

本書は、鳥栖市立保育所いづみ園増築工事に伴い平成16年度に実施した藤木町に所在する今泉遺跡の埋蔵文化財発掘調査報告書です。

調査の結果、弥生時代・中世の遺構、遺物を確認することができました。

本書を通じて地域の文化財に対して一層のご理解をいただき、また学術文化の向上に寄与するものであれば幸いに存じます。

最後に発刊にあたり、文化財保護との調整にご理解とご協力をいただいた関係部署、そして発掘作業ならびに整理作業に従事された方々に厚く御礼を申し上げます。

平成18年3月31日

鳥栖市教育委員会
教育長 中尾 勇二

例 言

1. 本書は、鳥栖市立保育所いづみ園増築工事に伴い埋蔵文化財発掘調査を実施した、鳥栖市藤木町字二塚に所在する今泉遺跡の調査報告書である。
2. 発掘調査は平成17年2月2日から3月24日、整理報告は平成17年6月1日から平成18年3月31日まで鳥栖市教育委員会が実施した。
3. 発掘調査にあたっては、鳥栖市民生部福祉事務所（平成18年4月より民生部こども育成課）ならびに鳥栖市立保育所いづみ園の協力を得た。
4. 現地調査から報告書作成までの作業に従事したものは下記のとおりである。なお出土遺物の整理を含む報告書作成業務は鳥栖市牛原町文化財整理室で行った。

表土除去：(株)篠原工務店

発掘作業：久保山隆弘・高田伊莫・中島トミ子・仁田利宣・松隈マチ子・山下重信・原野国敏・
角田美津枝・立石義光・時久幸・権藤芳郎・吉田正敏・山田武典・井上玲那

遺構実測：中島貞子・中村光子・平田博子・山本美代子・井上玲那・島孝寿

遺構写真：(有)空中写真企画・島孝寿

遺物整理：中村光子・平田博子

遺物実測：権藤由美子・毛利よし子・島孝寿

製 図：権藤由美子・毛利よし子

遺物写真：島孝寿

5. 本書の執筆・編集は島が担当した。

凡 例

1. 遺跡の略号は今泉遺跡（T I Z）である。
2. 遺跡図に用いた方位は座標北である。ただし、改正測量法施行（平成14年4月1日）以前の日本測地系による国土座標第Ⅱ系の座標を用いている。
3. 測定値の表示に用いた単位は遺構m、遺物cmを原則としている。
4. 表で示した計測値は、（ ）は復原値・推定値、〈 〉は残存値を表記するものとする。
5. 付録で昭和59・60年度、平成11・14年度に調査を行った他の今泉遺跡の概略を掲載している。

本文目次

第1章 調査の概要	1
I. 調査に至る経過	1
II. 調査の組織	1
第2章 地理的・歴史的環境	2
I. 地理的環境	2
II. 歴史的環境	2
第3章 調査の内容	2
I. 遺跡の概要	2
II. 6A区の調査	3
III. 6B区の調査	7
IV. 6C区の調査	8
V. まとめ	10
付録 今泉遺跡(3地区分概要)	11

挿図目次

図1 遺跡位置図(1/5,000)	3	図8 SB610掘立柱建物(1/60)	7
図2 遺構配置図(1/300)	4	図9 SK609土坑出土遺物(1/3)	8
図3 SX604円形周溝(1/60)	5	図10 今泉遺跡1次調査遺構配置図(1/400)	11
図4 SX604円形周溝出土遺物(1/4)	5	図11 方形周溝墓(1/100)・主体部(1/30)	12
図5 SD601・SD603・SD605溝土層(1/40)	6	図12 1号箱式石棺墓・2号方形竪穴・1号土壙墓(1/60)	12
図6 SD603・SD605溝・SB608掘立柱建物出土遺物(1/3)	6	図13 出土遺物(51・63~66 1/8・他1/4)	13
図7 SK609土坑(1/60)	7	図14 今泉遺跡4次・5次調査遺構配置図(1/400)	14

表目次

表1 今泉遺跡6次調査遺物一覧表	9
表2 今泉遺跡1次調査遺物一覧表	15

写真図版目次

写真図版1	1. 調査区全景(上空から手前北) 2. 6A区・6B区全景(上空から手前南)
写真図版2	1. 6A区全景(上空から手前東) 2. 6B区全景(上空から手前東) 3. 6C区全景(西から) 4. SX604円形周溝(上空から手前東) 5. SX604円形周溝(北から) 6. SD601溝(北から) 7. SD601溝土層(南から)
写真図版3	1. SD603・SD605溝(東から) 2. SD603・SD605溝土層(西から) 3. SK609土坑(西から) 4. SX604円形周溝出土遺物1 5. SX604円形周溝出土遺物2 6. SD603溝出土遺物1 7. SD603溝出土遺物2 8. SK609土坑出土遺物
写真図版4	1. 1次(A区)調査区(西から) 2. 1次(B区)方形周溝墓(北から) 3. 4次調査区(南から) 4. 5次調査区(北から) 5. 1次(A区)調査区区画溝出土遺物 6. 1次(A区)調査区2号方形竪穴出土遺物

報 告 書 抄 録

ふりがな	いまいずみいせき		
書名	今泉遺跡		
副書名	鳥栖市立保育所いづみ園増築工事関係埋蔵文化財調査報告書		
巻次			
シリーズ名	鳥栖市文化財調査報告書		
シリーズ番号	第77集		
編著者名	島 孝寿		
編集期間	鳥栖市教育委員会		
所在地	〒841-8511 佐賀県鳥栖市宿町1118番地		TEL0942 (85) 3695
発行年月日	西暦2006年3月31日		

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 。' "	東経 。' "	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
いまいずみいせき 今泉遺跡 (6次)	さがけんとうすし 佐賀県鳥栖市 ふじのきまちあざふたつか 藤木町字二塚	410213	-	33° 21' 47"	130° 31' 06"	20050202 ～ 20050324	600㎡	保育園 増築工事
いまいずみいせき 今泉遺跡 (1次)	さがけんとうすし 佐賀県鳥栖市 いまいずみまちあざいづみはた 今泉町字泉畑	410213	-	33° 21' 39"	130° 31' 06"	-	3,000㎡	宅地造成
いまいずみいせき 今泉遺跡 (4次)	さがけんとうすし 佐賀県鳥栖市 いまいずみまちあざあらひと 今泉町字荒人	410213	-	33° 21' 48"	130° 30' 59"	20000214 ～ 20000217	160㎡	宅地造成
いまいずみいせき 今泉遺跡 (5次)	さがけんとうすし 佐賀県鳥栖市 ふじのきまちあざふたつか 藤木町字二塚	410213	-	33° 21' 46"	130° 31' 08"	20021212 ～ 20021213	140㎡	市道拡幅

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
今泉遺跡 (6次)	集落跡	弥生 中世	円形周溝 溝 土坑	弥生土器 土師器 陶磁器	弥生時代・中世の集落跡
今泉遺跡 (1次)	墳墓群 集落跡	弥生 古墳 中世	甕棺墓 方形周溝墓 溝	弥生土器 土師器 陶磁器	弥生時代・古墳時代の墳墓群 中世の集落跡
今泉遺跡 (4次)	集落跡	中世	溝	土師器	中世の集落跡
今泉遺跡 (5次)	集落跡	中世	溝	土師器	中世の集落跡

第1章 調査の概要

I. 調査に至る経過

平成16年7月2日付けで、鳥栖市民生部福祉事務所より藤木町字二塚3,000㎡について、鳥栖市立保育所いづみ園増築工事に伴う埋蔵文化財確認調査の依頼が鳥栖市教育委員会に提出された。対象地区は、周知の埋蔵文化財包蔵地（今泉遺跡）内であることから、生涯学習課では平成16年7月20日から21日に確認調査を実施した。その結果、対象地内1,600㎡から遺構を確認した。協議の結果、建物により掘削される約600㎡について平成16年度内に発掘調査を行い記録保存することで合意した。本調査は平成17年2月2日から3月24日にかけて実施し、出土遺物・調査記録類の整理および調査報告書作成業務は、平成17年度事業として平成17年6月1日から平成18年3月31日の期間、鳥栖市牛原町文化財整理室において実施した。

II. 調査の組織

鳥栖市教育委員会が主体となって実施した。組織は以下のとおりである。

調査主体	鳥栖市教育委員会			
総括	教 育 長	中尾 勇二		
	教 育 部 長	近藤 繁美	(平成16年度)	
		篠原 正孝	(平成17年度)	
	教 育 部 次 長	陣内 誠一		
	生涯学習課長	西山 八郎		
	生涯学習課参事	権藤 民二	(平成16年度)	
		横尾 順二	(平成17年度)	
庶務	生涯学習課課長補佐	藤瀬 禎博		
	生涯学習推進係事務吏員	田中 啓子	(平成16年度)	
		田中 美香	(平成17年度)	
調査	生涯学習課文化財係			
	文化財係長	石橋 新次		
	文化財係主査	鹿田 昌宏・湯浅 満暢・久山 高史		
	文化財係事務吏員	重松 正道・内野 武史		
	文化財係事務吏員	島 孝寿 (調査、報告書作成担当)		

調査協力 鳥栖市民生部こども育成課（旧民生部福祉事務所）・鳥栖市立保育所いづみ園・佐賀県教育委員会文化課

第2章 地理的・歴史的環境

I. 地理的環境

佐賀県東部に位置する鳥栖市は、福岡県久留米市・小郡市・筑紫郡那珂川町と県境を接し、南には筑後川が流れ、北は脊振山地の東端に位置し、東西に筑後平野・佐賀平野を持つ地域である。今泉遺跡は、標高17mの低位段丘上に立地しており、当地より南側は標高10m以下の洪積低地の平坦部が続く。

II. 歴史的環境

市内には現在約180遺跡が確認されており、旧石器時代から近世にかけて様々な遺構・遺物が出土している。特に弥生時代においては、安永田遺跡・本行遺跡から銅鐸の鋳型を含む多くの青銅利器・鋳型が出土している。また柚比本村遺跡から赤漆玉鈿装鞘銅剣を含む7本の銅剣が甕棺墓及び木棺墓より出土し、また祖霊祭祀に使用されたと思われる国内最大級の大型建物跡などが確認されている。古墳時代後期には大型古墳群が出現し、そのなかでも田代太田古墳（彩色系装飾古墳）については国史跡となっている。中世では多くの館跡や町屋跡を確認しているが、特に中世山城群でもある勝尾城筑紫氏遺跡は、広大な敷地とともに城及び館跡が良好な状態で残っており、北部九州における戦国期の代表的な遺跡と言われている。なお平成17年度に国指定となっている。江戸時代に入ると概ね安良川を境にして左岸が対馬藩田代領、右岸は佐賀藩に分かれる。

今泉遺跡の周辺遺跡（藤木・真木・内畑・京町・小原・西浦遺跡）からも弥生時代から近世にかけての遺構・遺物が出土している。本遺跡に関しては数度の発掘調査が実施されており、弥生時代の墳墓群（甕棺墓等）、古墳時代の墳墓（方形周溝墓等）、古墳・中世・近世の集落跡などが確認されている。

第3章 調査の内容

I. 遺跡の概要

当地は旧国鉄官舎跡地で鳥栖市立保育所いづみ園及び鳥栖市藤木町文化財整理室が立地している。今回、いづみ園が増築されることとなり文化財整理室を移転し、その地に増築することとなった。いづみ園及び文化財整理室建設の際には、確認調査を実施しており遺構を確認していた。（園舎は遺構を検出していない場所とし、文化財整理室については120cmの盛土及び保護層を施し、遺構に影響がないように建設されている。なお整理室についてはプレハブである。）

今回、建物が増築される地点について再度詳細な確認調査を実施し、遺構を検出した約1,600㎡のうち、削平される約600㎡について6A・6B・6C区の調査区を設定し本調査を実施した。調査の結果、円形周溝1条、土坑2基、溝5条、掘立柱建物跡2棟を検出した。円形周溝については弥生時代後期に位置し、他は概ね14世紀代にかけてのものである。遺物は、弥生土器、土師器、青磁などが出土している。

なお今回調査を行った調査区のほかに今泉遺跡では数次の調査が実施されている。

調査次	調査区	調査年度	調査原因	種別	時期
第1次調査	A・B区	昭和59・60年度	宅地造成	甕棺墓・方形周溝墓・溝	弥生・古墳・中世
第2次調査	A・B・C・D区	平成8年度	宅地造成	溝・井戸・住居・土壇墓	古墳・中世
第3次調査	1・2・3区	平成10年度	区画整理	溝・墓地	中世・近世
第4次調査	4区	平成11年度	宅地造成	溝	中世
第5次調査	5区	平成14年度	市道拡幅	溝	中世
第6次調査	6A・6B・6C区	平成16年度	保育園増築	円形周溝・溝	弥生・中世

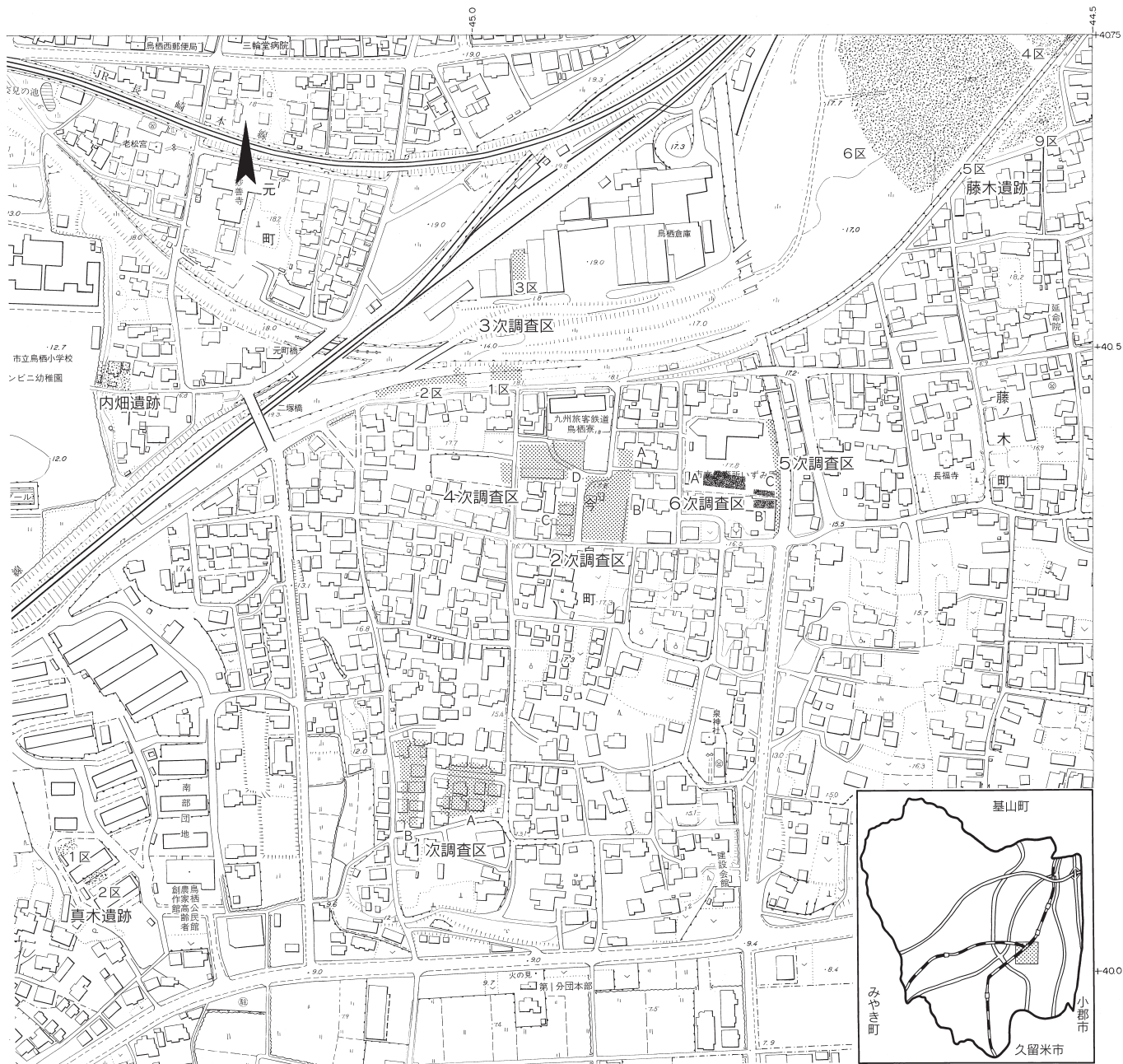


図1 遺跡位置図 (1/5,000)

Ⅱ. 6A区の調査

弥生時代の遺構・遺物

SX604円形周溝 (図3)

東西5.15m、南北5.20m、周溝幅最大0.90m、深さ0.35mの円形状の溝であり、周溝断面の形状はU字形である。北側に2本の柱穴が立地しているが、関連については不明である。また内部施設等については確認できていない。なお弥生時代後期前半に属する。

遺物は甕 (図4-1・2・3・4・5)、壺 (図4-6) である。ほぼ周溝北側の一箇所から集中して出土している。

中世の遺構・遺物

SD601溝 (図2・図5)

調査区の西地区を南北に横断している。長さ約9.75m、最大幅2.00m、深さ0.55mを測る。断面の形状は図5で示すように緩やかな台形である。遺物は土師器の碎片のみである。

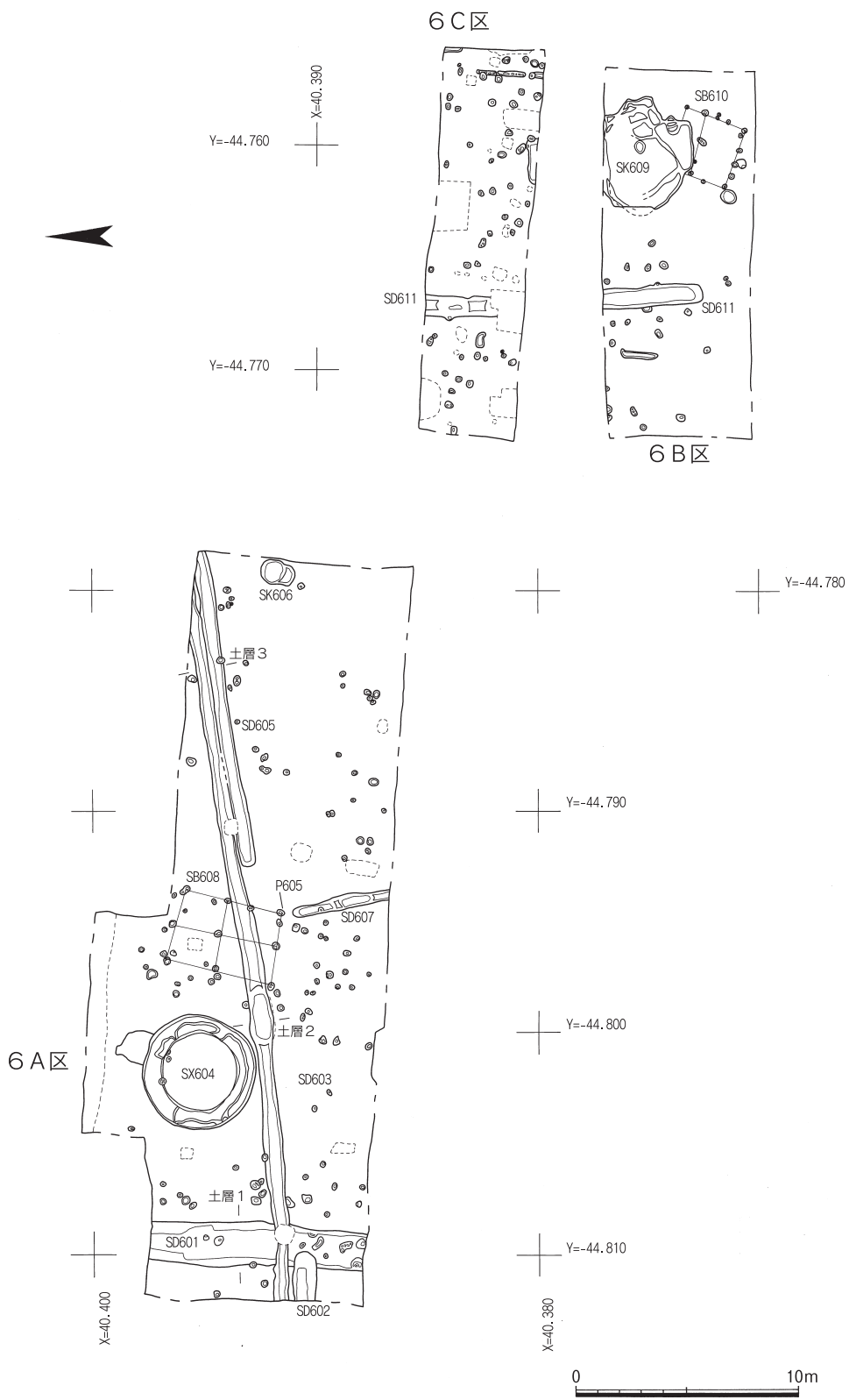


図2 遺構配置図 (1/300)

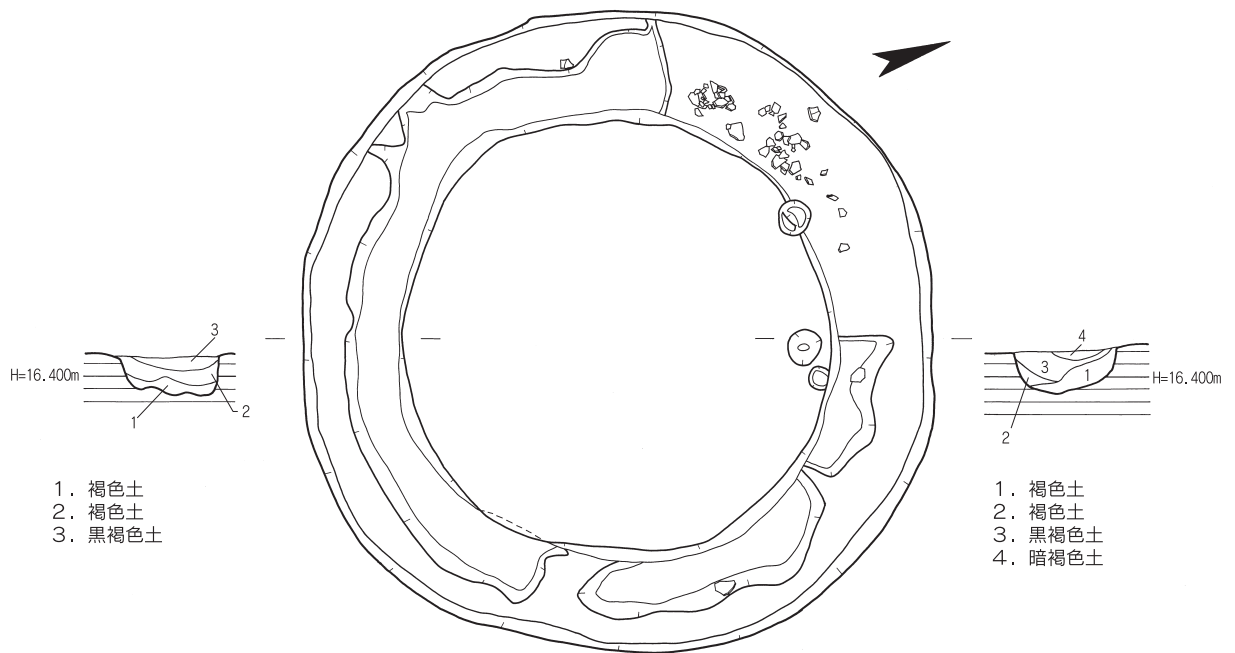


図3 SX604円形周溝 (1/60)

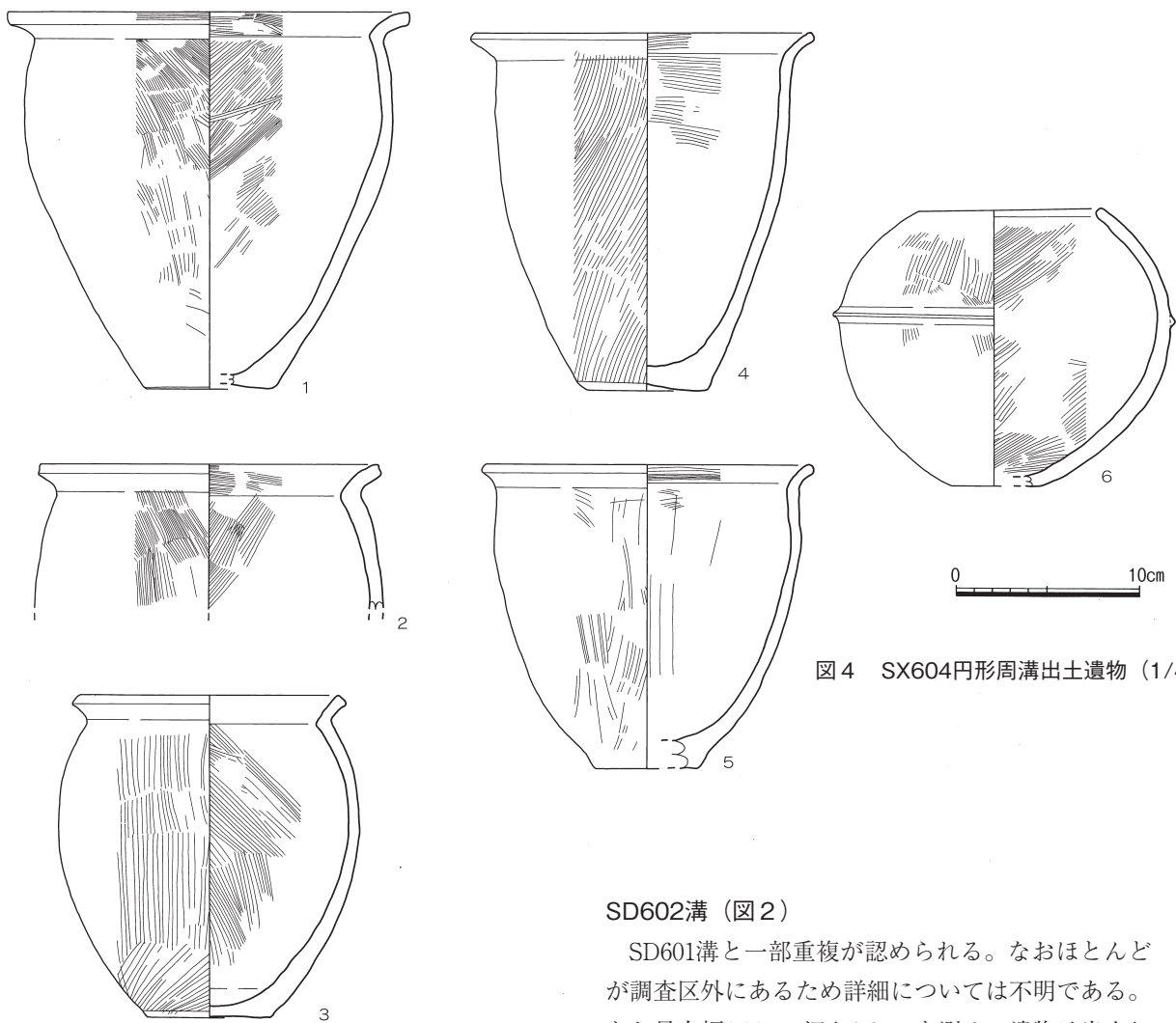
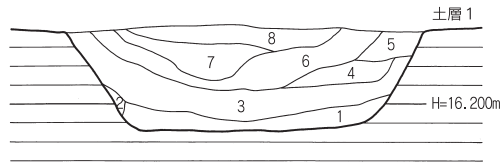


図4 SX604円形周溝出土遺物 (1/4)

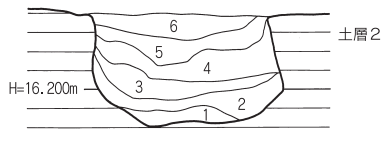
SD602溝 (図2)

SD601溝と一部重複が認められる。なおほとんどが調査区外にあるため詳細については不明である。なお最大幅1.11m、深さ0.65mを測る。遺物は出土していない。



SD601溝土層

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 暗黄褐色土 (黄褐色土、暗灰褐色土を含む) | 5. 暗灰褐色土 (黄褐色土を若干含む) |
| 2. 暗灰褐色土 | 6. 褐色土 (黄褐色土を若干含む) |
| 3. 暗灰褐色土 (黄褐色土を若干含む) | 7. 黒褐色土 (暗灰褐色土を若干含む) |
| 4. 暗灰褐色土 | 8. 黒褐色土 |



SD603溝土層

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 暗灰褐色土 (明黄褐色土を若干含む) | 4. 暗灰褐色土 (明黄褐色土を含む) |
| 2. 暗灰褐色土 (明黄褐色土を含む) | 5. 暗灰褐色土 (4層より若干淡い) |
| 3. 暗灰褐色土 (2層より硬質) | 6. 暗灰褐色土 (5層より若干硬質) |

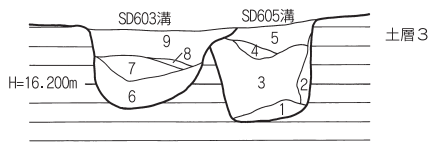


図5 SD601・SD603・SD605溝土層 (1/40)

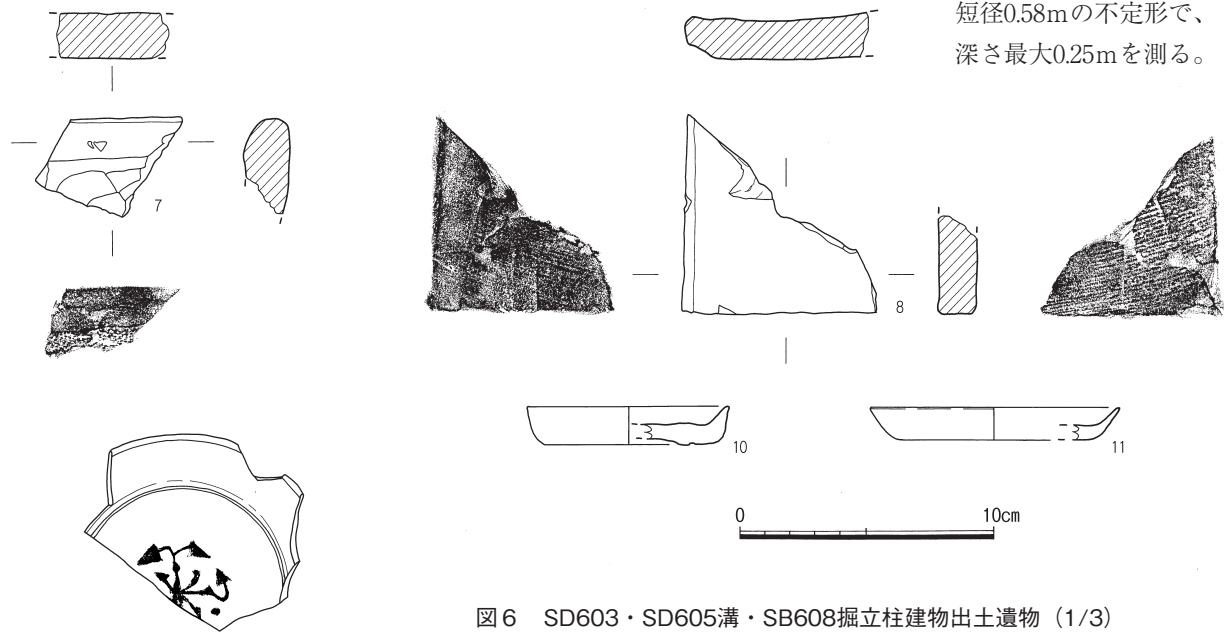


図6 SD603・SD605溝・SB608掘立柱建物出土遺物 (1/3)

SB608掘立柱建物 (図2)

調査区中央に位置する。規模構造は2間(柱間2.40m)×2間(柱間1.60m)、床面積約17㎡である。柱穴掘方は概ね円形であり、深さ最大約0.30mを測る。詳細図については図化していない。出土遺物は土師皿(図6-11)である。

SD603溝 (図2・図5)

調査区を東西に横断している。長さ約32.0m、最大幅0.90m、深さ0.58mを測る。断面の形状は図5で示すようにU字形である。なお一部に窪みが見受けられる。遺物は、瓦片(図6-7・8)、青磁碗(図6-9)が出土している。

SD605溝 (図2・図5)

SD603溝と並列している。重複関係はSD605→SD603

である。長さ約14.4m、幅0.60m、深さ0.50mを測る。断面の形状は図5で示すように台形である。出土遺物は土師皿(図6-10)である。

SD603溝・SD605溝土層

- | |
|-------------------------|
| 1. 暗褐色土 (黄褐色土を多数含む) |
| 2. 橙色土 |
| 3. 灰褐色土 (橙色土を含む) |
| 4. 黒褐色土 (橙色土、灰褐色土を含む) |
| 5. 灰褐色土 (3層より硬質) |
| 6. 暗褐色土 (黄褐色土、暗黄褐色土を含む) |
| 7. 灰褐色土 (黄褐色土を含む) |
| 8. 灰褐色土 |
| 9. 灰褐色土 (橙色土を含む。7層より硬質) |

SK606土坑 (図2)

A区東端に位置する。平面形態は長径0.78m、短径0.58mの不定形で、深さ最大0.25mを測る。

出土遺物は碎片のみである。詳細図については図化していない。

SD607溝 (図2)

調査区中央を北に伸びる溝である。残りが悪く詳細については不明である。なお長さ4.60m、幅0.32m、深さ0.10mを測る。遺物は出土していない。

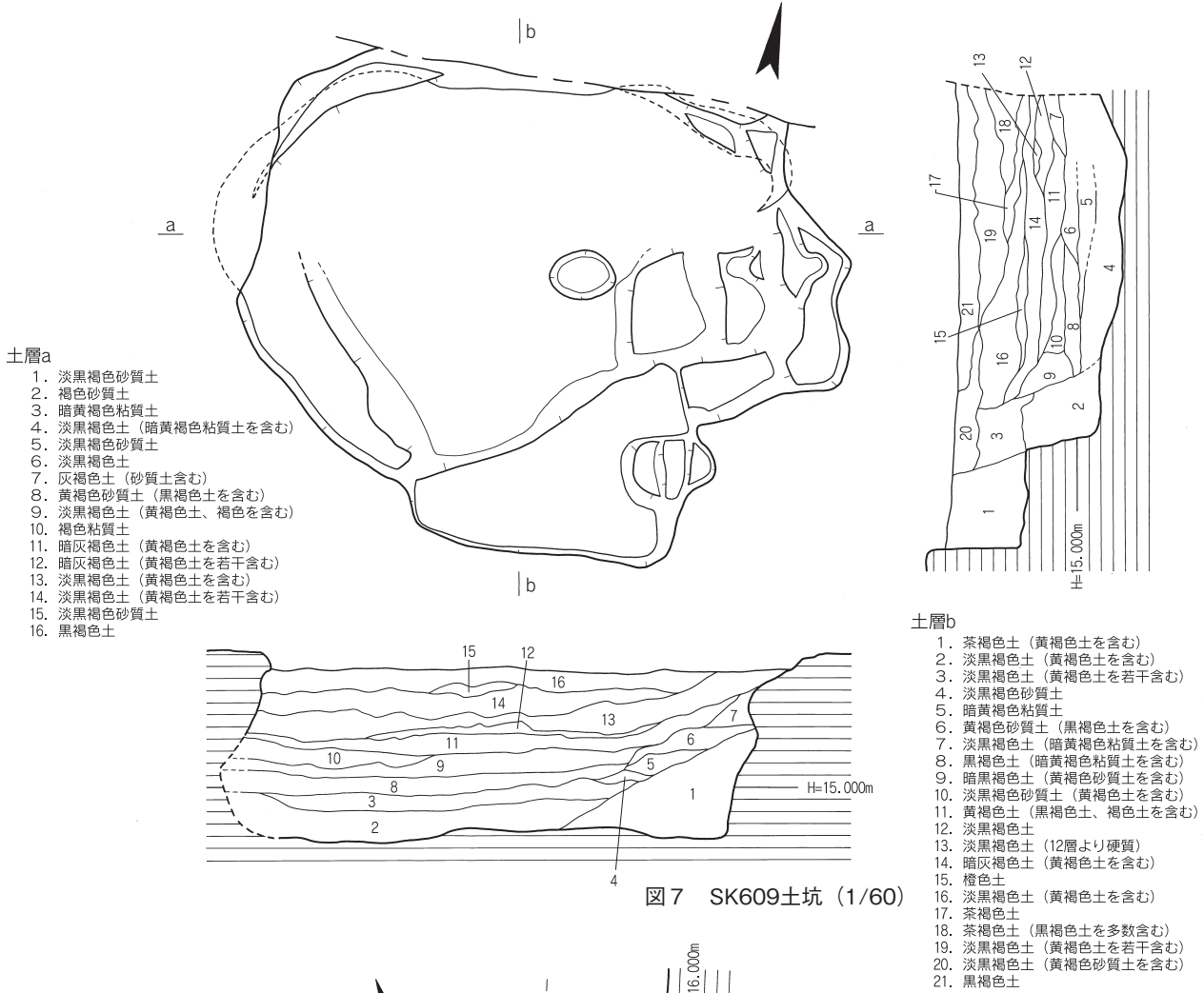


図7 SK609土坑 (1/60)

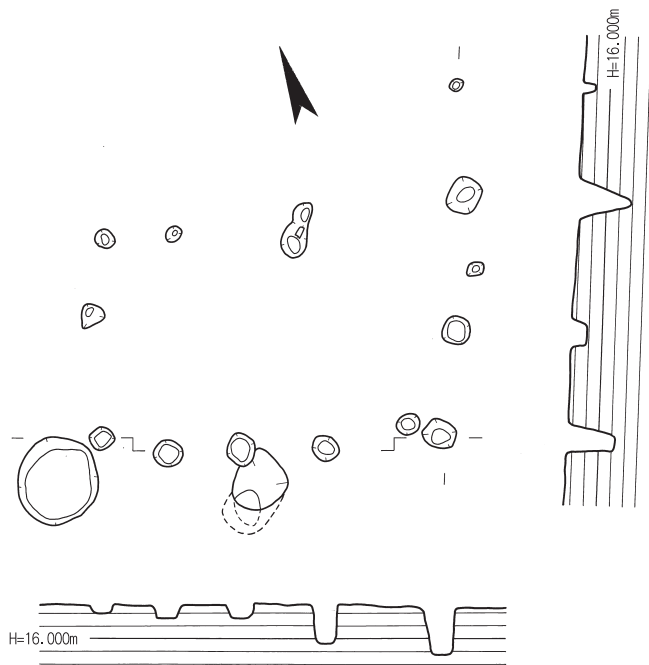


図8 SB610掘立柱建物 (1/60)

Ⅲ. 6B区の調査

SK609土坑 (図7)

調査区の東側にあたり、平面形態は長径5.15m、短径4.00+m、深さ最大1.65mを測る。不定形のプランで内部はフラスコ状の構造を施している。また一部、階段及び平場状の施設がみられる。重複関係が認められることから他の遺構の可能性も推察できるが、ここでは関連するものとして図化している。土層は上層部については黒褐色土および黄褐色土の混合層が多数占めるが、下層部にかけては、黒褐色土および黄褐色砂質土の混合層が展開している。なお遺物 (図9) は主に上層より出土している。

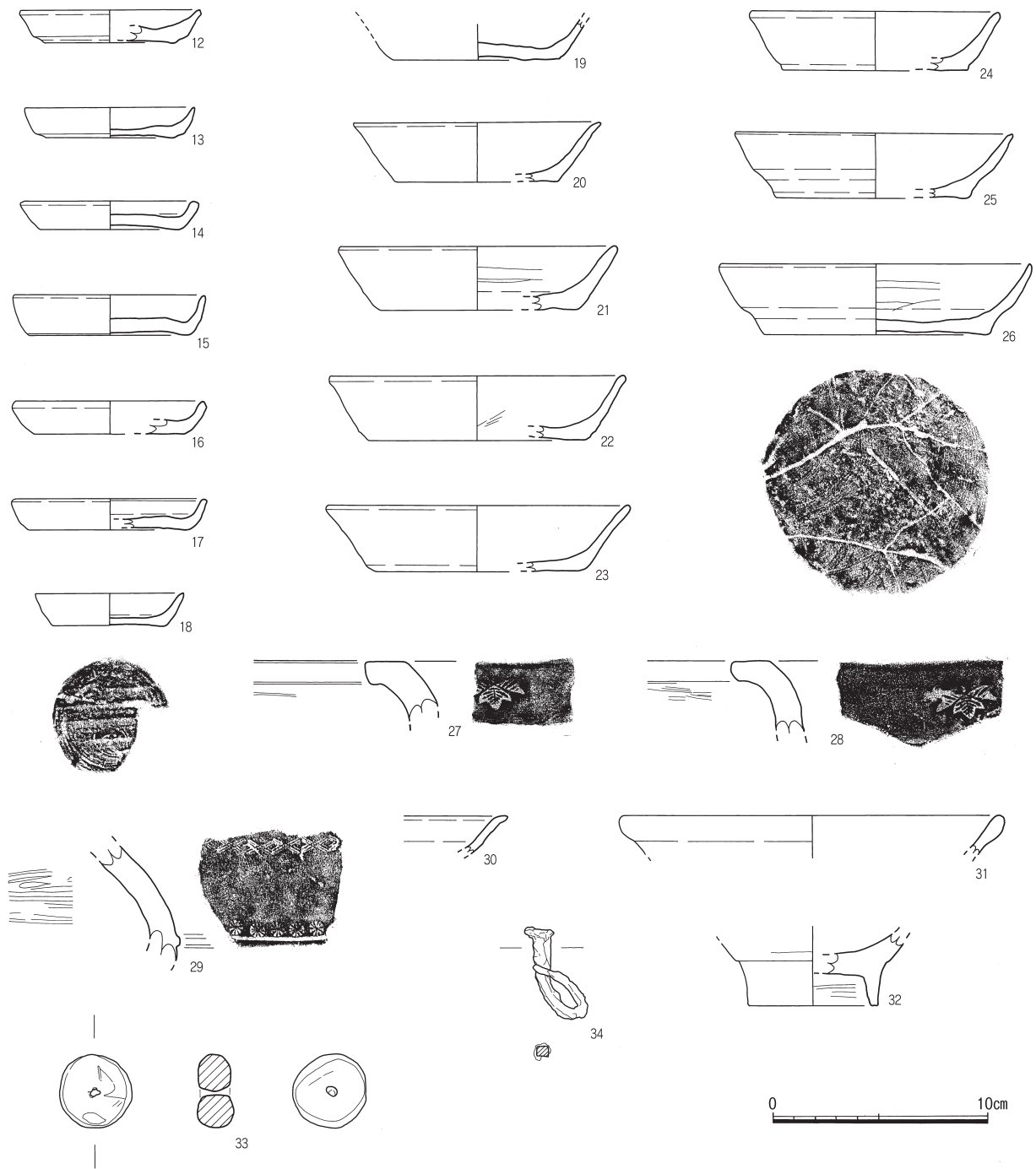


図9 SK609土坑出土遺物 (1/3)

SB610掘立柱建物 (図8)

SK609土坑に隣接するような構造をもつ。床面積7.28㎡を測る。SK609土坑に関連するものと推測される。

SD611溝 (図2)

南北に溝が展開する。幅0.50m、深さ0.50mを測る。遺物は碎片のみの出土である。

IV. 6C区の調査

SD611溝が6C区にも認められる。遺物の出土はなく詳細については不明である。

6C区については遺物の出土はなく、また小穴については認められるが、目ぼしい遺構は確認できていない。

今泉遺跡6次調査 遺物一覧表

法量の単位はcm。()は復原径、〈 〉は残存径。

図版番号	遺構	種別	器種	法量	残存状況	色調	備考	登録番号
				①口径 ②器高 ③底径		()は内面		
図4-1	SX604	弥生土器	甕	①(22.0) ②<20.4> ③(6.9)	口縁部～胴部にかけて1/2、底部一部欠損	にぶい橙色	外面の口縁部～底部にかけて黒斑有	050434
図4-2	SX604	弥生土器	甕	①(18.6) ②<7.8>	口縁部一部残存	にぶい黄褐色 (にぶい黄橙色)		050435
図4-3	SX604	弥生土器	甕	①(14.1) ②17.8 ③6.8	1/2残存	褐灰色(橙色)	胴部～底部にかけて黒斑有	050430
図4-4	SX604	弥生土器	甕	①(18.4) ②19.4 ③(6.3)	口縁部1/6残存、胴部1/4、底部1/2欠損	にぶい黄橙色		050432
図4-5	SX604	弥生土器	甕	①(17.7) ②<16.6> ③(5.6)	1/5残存	橙色		050431
図4-6	SX604	弥生土器	壺	①(9.9) ②15.0 ③(4.9)	口縁部一部残存、胴部～底部にかけて1/3欠損	にぶい橙色	外面に黒斑有	050433
図6-7	SD603	瓦	平瓦	縦<3.7> 横<4.4> 幅1.8	一部残存	灰白色		050441
図6-8	SD603	瓦	平瓦	縦<3.8> 横<7.2> 幅1.6	一部残存	にぶい黄色		050440
図6-9	SD603	青磁	碗	①(12.0) ②3.3 ③(7.7)	口縁部1/5、高台1/3残存	明オリーブ灰色		050442
図6-10	SD605	土師器	小皿	①(8.0) ②1.5 ③(6.9)	口縁部～底部1/4残存	にぶい橙色		050438
図6-11	SB608 (P-605)	土師器	小皿	①(9.7) ②1.3 ③7.5	口縁部一部、底部1/3残存	浅黄橙色	糸切り痕	050436
図9-12	SK609 上層	土師器	小皿	①(8.3) ②1.6 ③(6.1)	口縁部～底部にかけて1/4残存	にぶい橙色	糸切り痕	050444
図9-13	SK609	土師器	小皿	①(8.0) ②1.4 ③(6.0)	1/2残存	にぶい橙色	糸切り痕・口縁部に黒斑有	050461
図9-14	SK609 上層	土師器	小皿	①(8.0) ②1.3 ③(6.6)	口縁部～底部にかけて1/4残存	にぶい橙色	糸切り痕	050449
図9-15	SK609	土師器	小皿	①(9.0) ②1.9 ③(7.4)	口縁部～底部にかけて1/5残存	にぶい黄橙色	糸切り痕	050455
図9-16	SK609 上層	土師器	小皿	①(8.9) ②1.5 ③(7.0)	口縁部～底部にかけて1/4残存	にぶい橙色	糸切り痕	050445
図9-17	SK609 上層	土師器	小皿	①(8.9) ②1.5 ③(7.6)	口縁部1/8、底部1/4残存	にぶい橙色 (橙色)		050446
図9-18	SK609	土師器	小皿	①(6.9) ②1.6 ③(5.2)	口縁部一部、底部1/2残存	灰黄褐色	糸切り痕	050437
図9-19	SK609	土師器	坏	②<1.8> ③7.8	口縁部、底部一部欠損	橙色	糸切り痕	050459
図9-20	SK609	土師器	坏	①(11.6) ②2.8 ③(7.6)	口縁部～底部にかけて1/5残存	橙色	糸切り痕	050456
図9-21	SK609 上層	土師器	坏	①(12.7) ②2.9 ③(9.3)	口縁部～底部にかけて1/4残存	浅黄橙色	糸切り痕	050443
図9-22	SK609	土師器	坏	①(13.7) ②3.0 ③(10.0)	口縁部～胴部1/3、底部一部残存	浅黄橙色	糸切り痕	050454
図9-23	SK609	土師器	坏	①(14.0) ②3.1 ③(9.4)	口縁部～底部にかけて1/4残存	橙色	糸切り痕・煤付着	050458
図9-24	SK609	土師器	坏	①(11.7) ②2.8 ③(8.7)	口縁部～底部にかけて1/4残存	橙色	糸切り痕	050457
図9-25	SK609	土師器	坏	①(12.9) ②3.0 ③8.9	口縁部～胴部にかけて1/3残存	にぶい橙色	糸切り痕	050453
図9-26	SK609 上層	土師器	坏	①(14.5) ②3.3 ③(10.6)	口縁部1/2欠損	橙色	糸切り痕	050448
図9-27	SK609 上層	土師器	火鉢	②<2.8>	口縁部一部残存	にぶい褐色		050452
図9-28	SK609 上層	土師器	火鉢	②<3.3>	口縁部一部残存	灰褐色 (にぶい橙色)		050450
図9-29	SK609 上層	土師器	火鉢	②<5.4>	一部残存	にぶい褐色		050451
図9-30	SK609 上層	青磁	碗	②<1.8>	口縁部一部残存	明オリーブ灰色		050447
図9-31	SK609	白磁	碗	①(17.6) ②<1.8>	口縁部一部残存	灰白色		050460
図9-32	SK609	青磁	碗	②<3.3> ③(6.1)	底部～高台にかけて1/5残存	灰白色		050462
図9-33	SK609	土師器	不明	直径3.5 幅34 厚1.6	完形	浅黄橙色	紡錘車?	050463
図9-34	SK609 上層	金属製品	鉄釘	厚0.5	完形			050510

V. まとめ

今回調査を行った地区は、今泉遺跡の南東部に位置し、時代的には弥生時代後期・中世を中心に構成されている。

円形周溝状遺構については弥生時代後期前半のものである。内部施設等を含む同時期の遺構は確認できていない。弥生時代の遺構・遺物については他に検出されておらず、弥生集落（藤木遺跡・内畑遺跡等）から距離を置いた地区に立地している。祭祀関係の遺構ではないかと推測されるが、短期間の使用だと思われる。円形周溝状遺構は市内では大久保遺跡、平原遺跡、安永田遺跡、柚比本村遺跡（柚比町：現 弥生ヶ丘）、内精遺跡（蔵上町）、本原遺跡（原町）、飯田遺跡（飯田町）から出土している。

溝・土坑・小穴については、凡そ14世紀代の遺構である。南北に直線的に伸びるSD601溝、東西に伸びるSD603溝が交差している。SK609土坑については、直径4mを越す大きさを誇り、内部はフラスコ状の形状をもつ。中世墓・貯蔵穴などが考えられるが詳細については不明である。なお土坑には階段状の遺構がみられ、また土坑南側には掘立柱建物が検出されており、土坑との関連が指摘される。

今回の調査では今泉遺跡の全容の解明ができるものについては確認できなかったが、今泉遺跡の広がり及び弥生時代、中世の遺跡であることがわかった。

参考文献

「本原遺跡」	1988	鳥栖市文化財調査報告書第36集	鳥栖市教育委員会
「今泉遺跡」	1997	鳥栖市文化財調査報告書第55集	鳥栖市教育委員会
「内精遺跡」	2000	鳥栖市文化財調査報告書第59集	鳥栖市教育委員会
「藤木遺跡 今泉遺跡」	2001	鳥栖市文化財調査報告書第68集	鳥栖市教育委員会
「大久保遺跡」『柚比遺跡群1』	2001	佐賀県文化財調査報告書第148集	佐賀県教育委員会
「平原遺跡」『柚比遺跡群1』	2001	佐賀県文化財調査報告書第148集	佐賀県教育委員会
「安永田遺跡」『柚比遺跡群2』	2002	佐賀県文化財調査報告書第150集	佐賀県教育委員会
「柚比本村遺跡」『柚比遺跡群3』	2003	佐賀県文化財調査報告書第155集	佐賀県教育委員会

付 録

過去、今泉遺跡については6次の調査を行っているが、1・4・5次調査については報告がされていないため今回概要を報告するものとする。

第1次調査 A・B区 (図10)

昭和59・60年度の2ヵ年にかけて、宅地造成に伴いA・B区に分け調査を実施した。主要な遺構は弥生時代の甕棺墓2基、箱式石棺墓2基、石蓋土墳墓4基、古墳時代初頭の方形周溝墓1基および円形周溝墓1基、中世の土墳墓、区画溝、土坑15基が出土している。甕棺墓については凡そ、須玖～立岩形式に位置し、方形周溝墓については、直径9.10m、溝幅0.70m、深さ0.65mを測る。主体部は一部しか残存しておらず、また石敷がわずかに残るのみである。長軸0.70+m、短軸0.60m、深さ0.15mを測る。副葬品などは出土していない。また同時期と思われる円形周溝墓も確認できる。なお主体部については確認できない。

調査区内に大規模な中世の区画溝、同時期の土墳墓が確認され、土師器・青磁などが出土している。

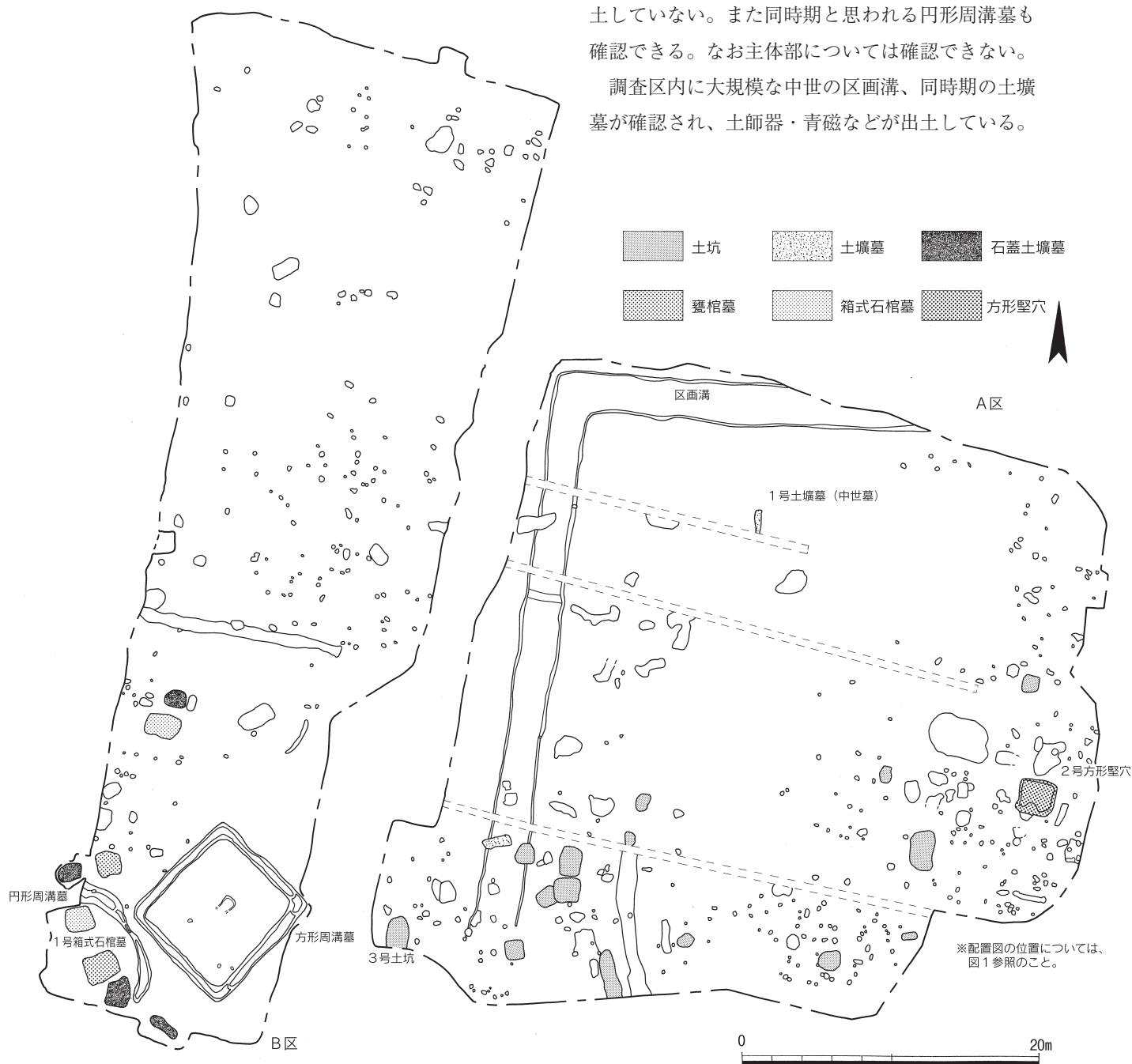


図10 今泉遺跡1次調査遺構配置図 (1/400)

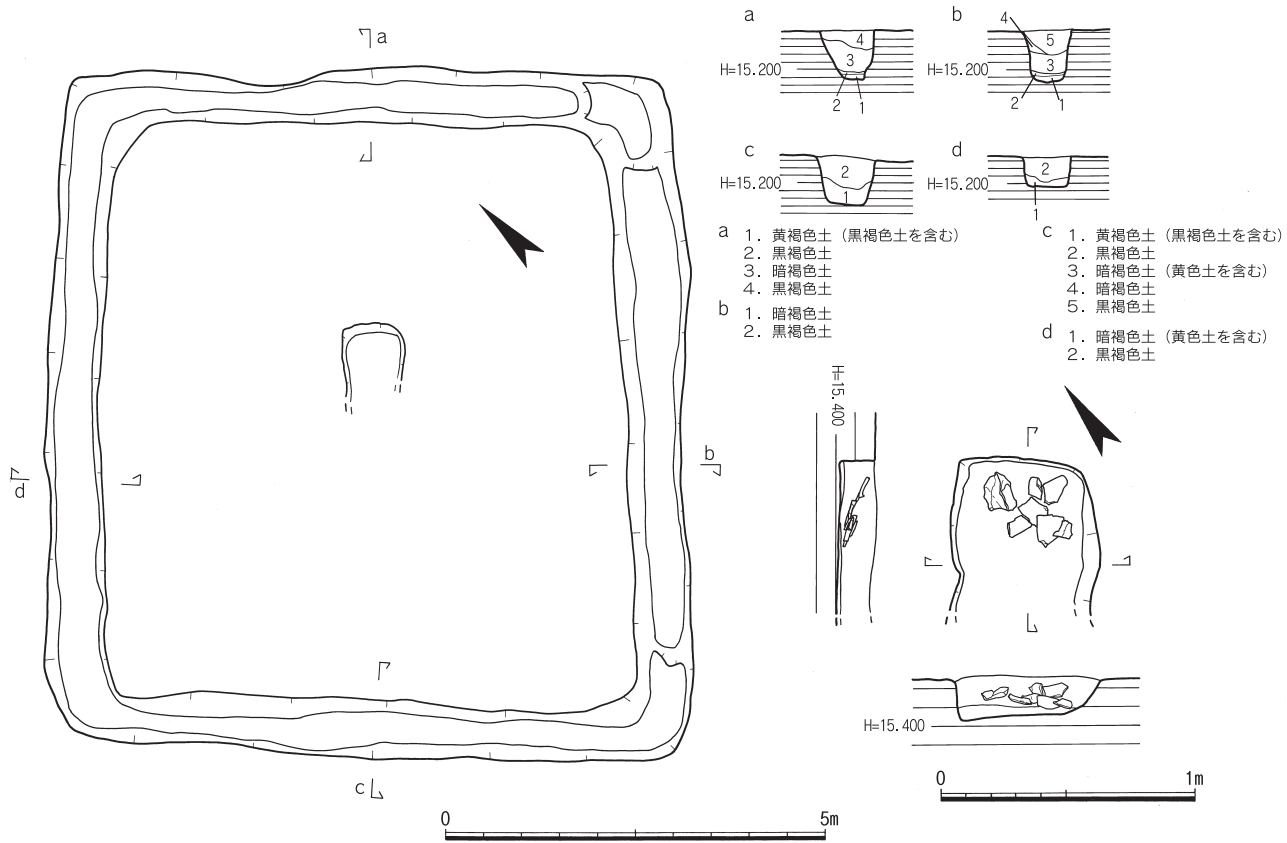


图11 方形周溝墓 (1/100)・主体部 (1/30)

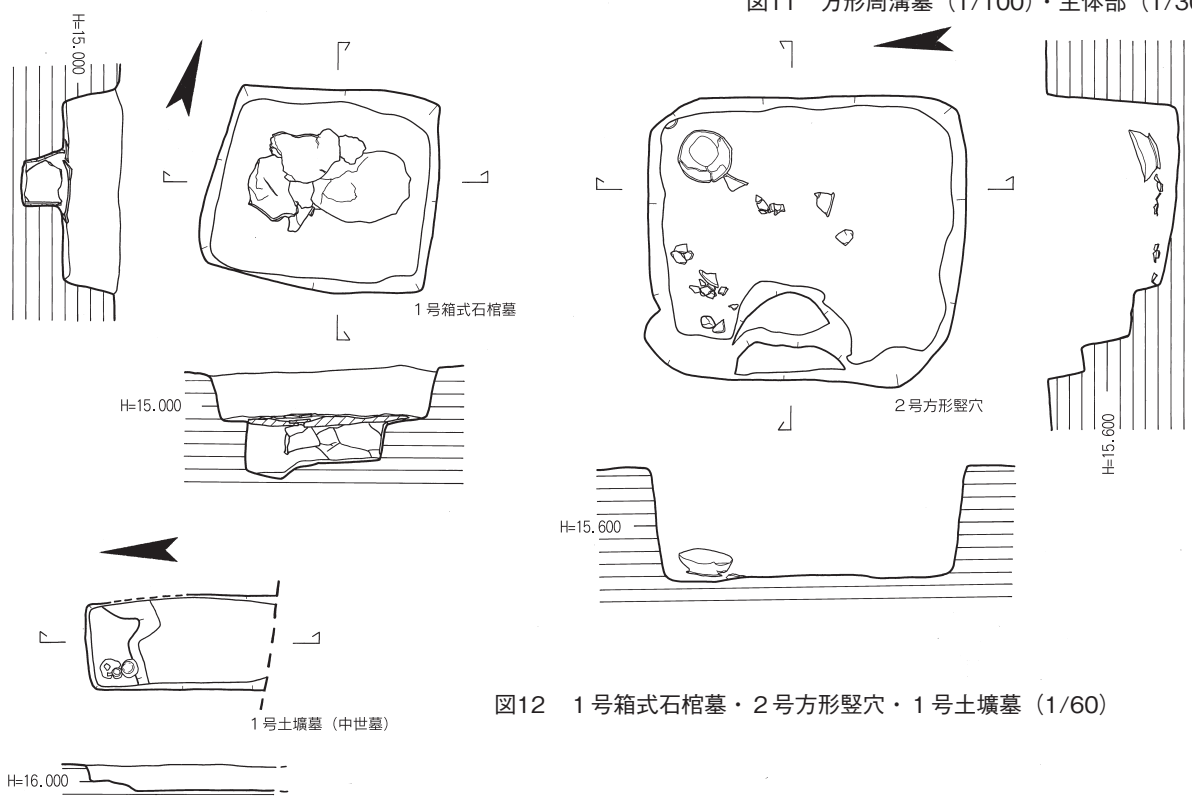


图12 1号箱式石棺墓・2号方形竖穴・1号土坑墓 (1/60)

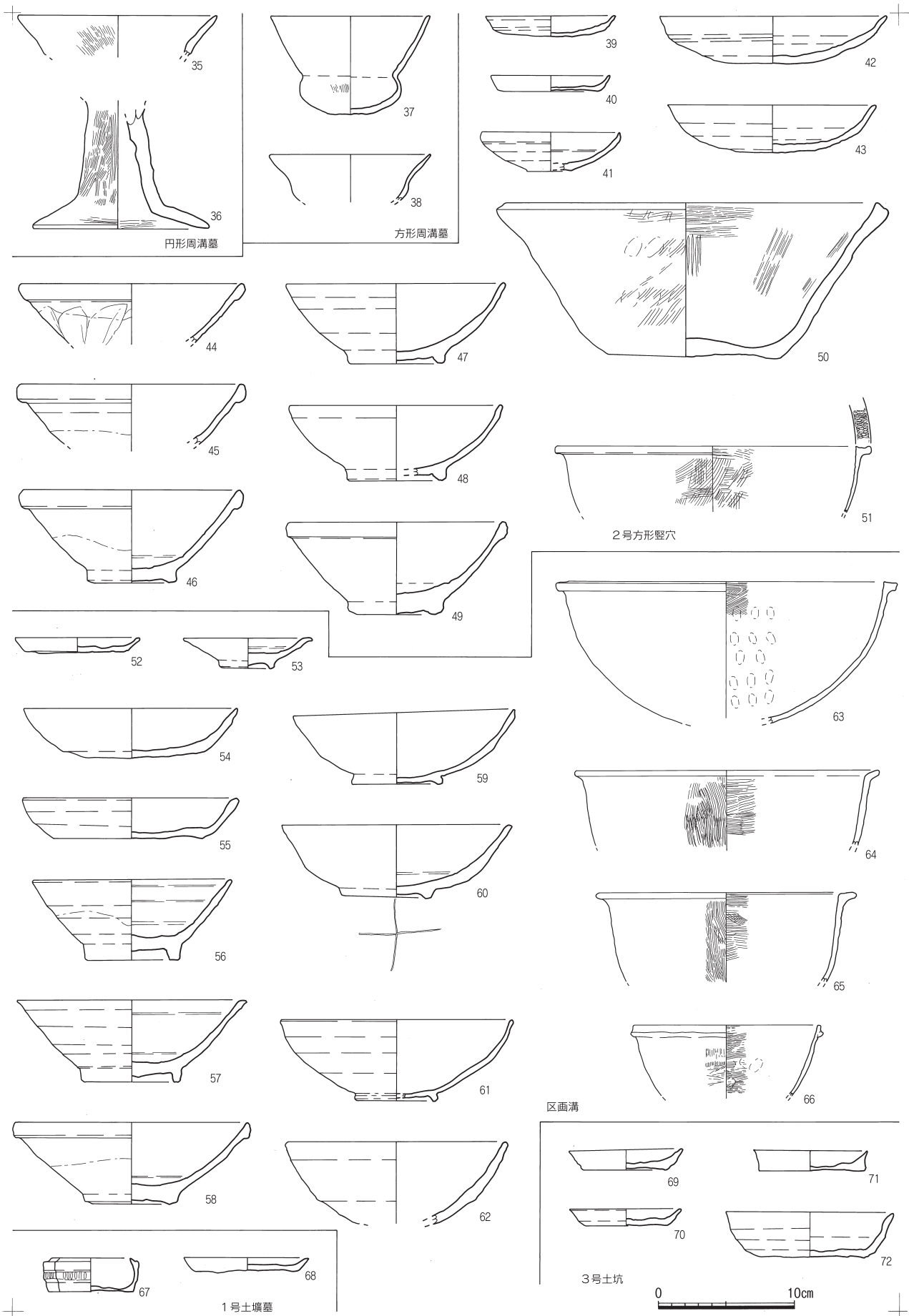


图13 出土遺物 (51·63~66 1/8·他1/4)

第2次調査 A・B・C・D区

平成8年度に宅地造成に伴いA・B・C・D区に分け調査を実施した。古墳時代の住居・掘立柱建物・土壙墓・井戸、中世の溝が確認されている。遺物は土師器・須恵器・瓦質土器・青磁・白磁等が出土している。(鳥栖市文化財調査報告書第55集)

第3次調査 1・2・3区

平成9・10・11年度の鳥栖駅東区画整理事業に伴い調査が行われた。中近世の集落跡・墓地などが確認されている。(鳥栖市文化財調査報告書第68集)

第4次調査 4区 (図14)

平成11年度、宅地造成に伴う調査で確認された地区である。溝1条(幅0.40m、深さ0.40m)のみの調査を行っている。遺物については土師器の碎片のみ出土している。

第5次調査 5区 (図14)

平成14年度、市道今泉田代線歩道拡幅工事に伴う調査である。溝1条(幅0.40m、深さ0.20m)、土坑2基、小穴を検出している。出土遺物は、土師器片が出土している。

第6次調査 6A・6B・6C区

平成16年度、鳥栖市立保育所いづみ園増築に伴う調査である。(鳥栖市文化財調査報告書第77集)

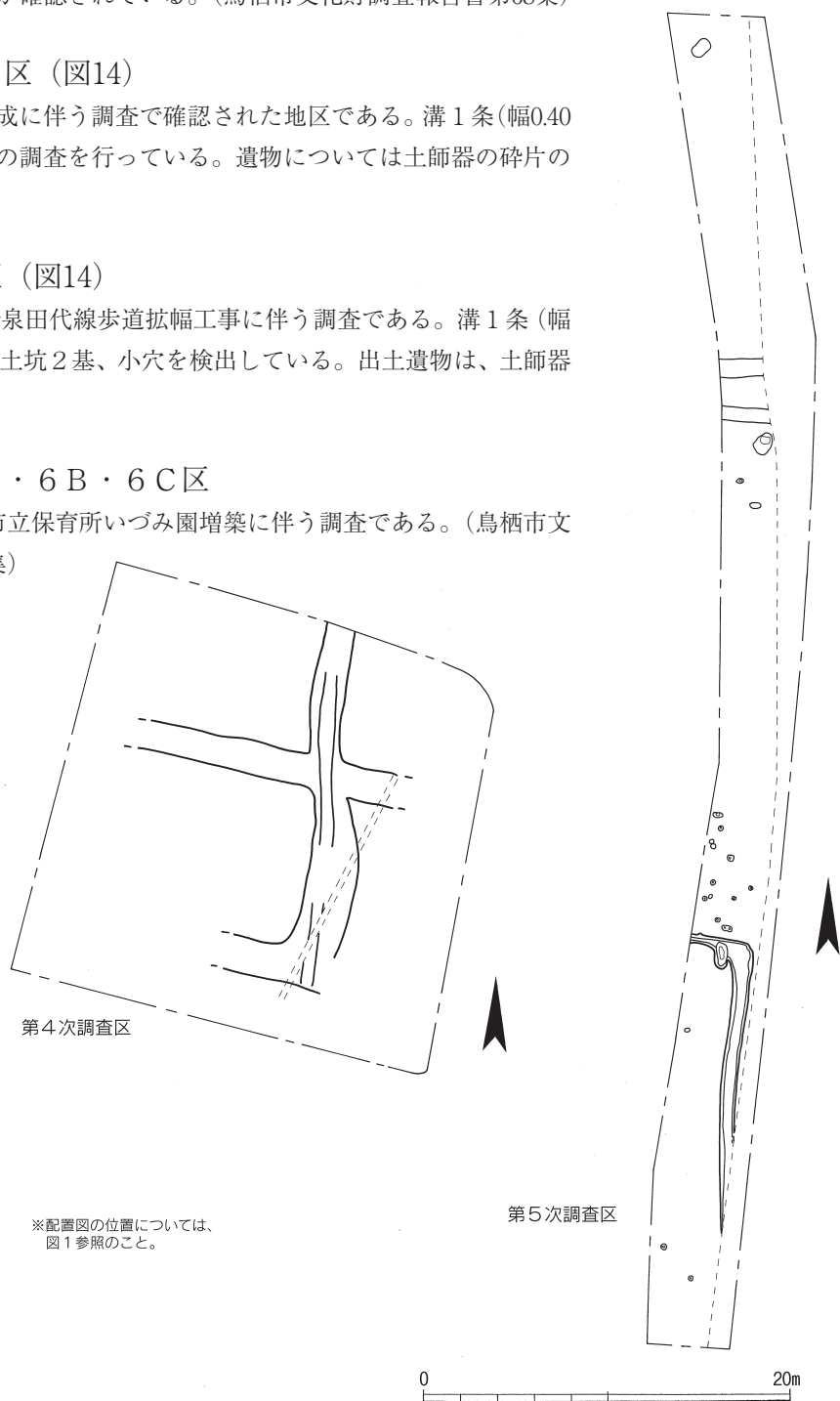


図14 今泉遺跡4次・5次調査遺構配置図 (1/400)

今泉遺跡 1次調査 遺物一覧表

法量の単位はcm。()は復原径、〈 〉は残存径。

図版番号	遺構	種別	器種	法量	残存状況	色調	備考
				①口径 ②器高 ③底径		()は内面	
図13-35	B区 円形周溝墓	土師器	壺	①(14.7) ②(3.0)	口縁部一部残存	橙褐色	
図13-36	B区 円形周溝墓	土師器	高坏	脚径13.0 ②(9.5)	脚部残存	淡茶褐色	
図13-37	B区 方形周溝墓	土師器	壺	①(11.8) ②7.3	1/2残存	橙褐色	外面に丹が若干残る
図13-38	B区 方形周溝墓	土師器	壺	①(12.0) ②(3.1)	口縁部一部残存	橙褐色	
図13-39	A区 2号方形竪穴	土師器	小皿	①9.6 ②1.6 ③6.4	完形	淡黄褐色	糸切り痕、板目痕、外面に化粧土部分的残る
図13-40	A区 2号方形竪穴	土師器	小皿	①8.8 ②1.2 ③7.4	口縁部一部磨耗	黄茶褐色	糸切り痕、外面に化粧土
図13-41	A区 2号方形竪穴	白磁	坏	①(10.3) ②2.9 ③(3.3)	1/3残存	黄灰色	釉有り
図13-42	A区 2号方形竪穴	土師器	坏	①16.8 ②3.5 ③6.0	完形	淡茶褐色	板目痕
図13-43	A区 2号方形竪穴	土師器	坏	①15.4 ②3.5 ③4.4	完形	黄橙褐色 (黄褐色)	板目痕、外面に化粧土
図13-44	A区 2号方形竪穴	白磁	碗	①16.3 ②(4.4)	口縁部3/4残存	灰白色	釉有り
図13-45	A区 2号方形竪穴	白磁	碗	①(16.4) ②(4.4)	口縁部一部残存	灰色	釉は緑味灰白色
図13-46	A区 2号方形竪穴	白磁	碗	①(16.0) ②6.8 ③5.5	底部、口縁部1/3残存	青灰色	釉有り
図13-47	A区 2号方形竪穴	瓦質土器	碗	①(16.2) ②5.9 ③(6.2)	1/4残存	灰褐色	ヘラ磨き
図13-48	A区 2号方形竪穴	瓦質土器	碗	①(15.8) ②5.6 ③(6.9)	1/2残存	暗黄褐色	ヘラ磨き
図13-49	A区 2号方形竪穴	青磁	碗	①16.1 ②6.8 ③6.9	完形	オリーブ褐色	釉有り
図13-50	A区 2号方形竪穴	瓦質土器	捏鉢	①29.4 ②11.5 ③12.7	底部一部欠損	暗灰褐色	外面に指頭痕、板目痕、内面に縦線模様有
図13-51	A区 2号方形竪穴	瓦質土器	土鍋	①(46.0) ②(9.9)	口縁部1/2残存	暗茶褐色 (黄茶褐色)	外面煤付着
図13-52	A区 直角溝	土師器	小皿	①9.2 ②1.2 ③6.3	完形	黄褐色	糸切り痕、板目痕
図13-53	A区 直角溝	白磁	小皿	①9.6 ②2.3 ③4.1	完形	灰白色	釉有り
図13-54	A区 直角溝	土師器	坏	①15.8 ②3.7 ③5.7	完形	黄褐色	糸切り痕、板目痕
図13-55	A区 直角溝	土師器	坏	①16.0 ②3.0 ③11.1	口縁部一部欠損	暗黄褐色	糸切り痕、板目痕
図13-56	A区 直角溝	白磁	碗	①14.7 ②5.9 ③6.7	口縁部一部残存	黄灰白色	釉有り、ヘラ削り
図13-57	A区 直角溝	白磁	碗	①17.0 ②6.0 ③7.0	口縁1/2残存	黄灰白色	釉有り、ヘラ削り
図13-58	A区 直角溝	白磁	碗	①(17.0) ②(6.0) ③(5.7)	口縁部一部、底部1/2残存	灰白色	釉は黄灰白色
図13-59	A区 直角溝	瓦質土器	碗	①(16.4) ②5.5 ③6.7	1/3欠損	暗灰色	ヘラ磨き
図13-60	A区 直角溝	瓦質土器	碗	①(17.0) ②5.4 ③6.6	口縁部一部欠損	灰褐色	ヘラ磨き
図13-61	A区 直角溝	瓦質土器	碗	①(17.1) ②6.0 ③(5.9)	口縁～底部まで1/4残存	淡灰褐色	内面模様有り、ヘラ磨き
図13-62	A区 直角溝	瓦質土器	碗	①16.1 ②(6.0)	口縁部一部残存	灰褐色	ヘラ磨き
図13-63	A区 直角溝	瓦質土器	土鍋	①(46.5) ②(20.9)	口縁部一部残存	暗褐色	外面煤付着
図13-64	A区 直角溝	瓦質土器	土鍋	①(44.2) ②(11.2)	口縁部一部残存	暗褐色	外面煤付着
図13-65	A区 直角溝	瓦質土器	土鍋	①(37.4) ②(13.1)	口縁部一部残存	暗茶褐色	外面煤付着
図13-66	A区 直角溝	瓦質土器	土鍋	①(27.5) ②(10.3)	口縁部一部残存	暗褐色 (暗黄褐色)	外面煤付着
図13-67	A区 1号土壙墓	青磁	合子	①5.9 ②2.5 ③6.3	完形	淡緑色 底部：淡橙褐色	
図13-68	A区 1号土壙墓	土師器	小皿	①9.2 ②1.1 ③7.4	完形	淡茶褐色	糸切り痕、板目痕

今泉遺跡 1 次調査 遺物一覧表

法量の単位はcm。()は復原径、〈 〉は残存径。

図版番号	遺構	種別	器種	法量	残存状況	色調	備考
				①口径 ②器高 ③底径		()は内面	
図13-69	A区 3号土坑	土師器	小皿	①8.4 ②1.5 ③6.0	口縁部一部欠損	灰黄褐色	糸切り痕、板目痕
図13-70	A区 3号土坑	土師器	小皿	①8.3 ②1.3 ③6.2	口縁部一部欠損	淡黄褐色	糸切り痕
図13-71	A区 3号土坑	土師器	小皿	①8.4 ②1.5 ③7.8	完形	淡茶褐色	糸切り痕
図13-72	A区 3号土坑	土師器	坏	①12.4 ②3.3 ③7.7	完形	淡茶褐色	糸切り痕

写真図版



1. 調査区全景 (上空から.手前北)



2. 6A区・6B区全景 (上空から.手前南)



1. 6A区全景 (上空から.手前東)



4. SX604円形周溝 (上空から.手前東)



2. 6B区全景 (上空から.手前東)



5. SX604円形周溝 (北から)



6. SD601溝 (北から)



3. 6C区全景 (西から)



7. SD601溝土層 (南から)



1. SD603・SD605溝 (東から)



2. SD603・SD605溝土層 (西から)



3. SK609土坑 (西から)



4. SX604円形周溝出土遺物 1



5. SX604円形周溝出土遺物 2



6. SD603溝出土遺物 1



7. SD603溝出土遺物 2



8. SK609土坑出土遺物



1. 1次 (A区) 調査区 (西から)



2. 1次 (B区) 方形周溝墓 (北から)



3. 4次調査区 (南から)



4. 5次調査区 (北から)



5. 1次 (A区) 調査区区画溝出土遺物



6. 1次 (A区) 調査区2号方形竪穴出土遺物

鳥栖市文化財調査報告書第77集

今泉遺跡

－鳥栖市立保育所いづみ園増築工事関係埋蔵文化財発掘調査報告書－

平成18年3月31日 発行

編集 鳥栖市教育委員会

発行 佐賀県鳥栖市宿町1118番地

印刷 三橋印刷株式会社

佐賀県鳥栖市蔵上4丁目152番地

